

## 「道内の感染状況等について（道案）」等に対する主な意見

## 1 有識者・専門家等の意見

## 1-①

集団接種が最も効率的であると考え、ワクチン接種に関する迅速な取り組みを示すべきではないか。もはや、ワクチン接種以外に有効な方策はないと思われる。

札幌市は、医療施設や社会福祉施設の職員に対して、定期的にPCR検査を行い、それによりクラスター発生を抑制するとしていたが、その効果は如何程であったかを市民に示す必要があるのではないか。

感染経路不明については、疫学調査が丁寧に実施されていないことにより高くなっていると考えられる。疫学調査はしっかりと丁寧に行う必要がある。

## 1-②

札幌市内も含め、医療・老人福祉施設でクラスターが発生しており、医療・介護崩壊の寸前。介護現場では、入院ができないため施設内での治療しかできず、症状の悪化が懸念されている。

これに加えて、介護職員の感染も増えており、人手不足に拍車をかけている状態。医療・介護現場を守るためにも、道民の皆さんに協力をお願いしたい。

## 1-③

札幌市内の人流抑制が一番効果的と思うが、細かい地点ごとの分析を行い、人流が減らない原因に対する施策を打っていくことも必要と思う。

自宅療養の方が増えているが、宿泊施設を増やすなど、道からの支援を強化いただくとともに、感染経路不明者も増えているので、追跡していく方を強化すべき。

6月以降も対策継続となった時には、学校の休校なども含めた感染抑止につながる施策強化が不可欠と思える。

## 1-④

陽性率が9.7%と高いのが気になる。確保病床の使用率だが、北海道全体だと低くなるので、札幌市だけの状況も記載していただくと参考になる。全国ニュースを見ても北海道全体の低さが提示され、札幌市が高いことが分かるよう明示したほうが良いと思う。

## 2 市町村・関係団体の意見

## 2-①

新規感染者の減少が見込まれない状況であることから、緊急事態措置の延長を前提とし、特定措置区域や道外との往来を抑制する取り組みを強化していただきたい。